第3回日本脳脊髄液漏出症学会 学術集会

テーマ　脳脊髄液漏出症診療の今

学術集会開催概要

会期：2024年（令和5年）3月9日（土）・10日（日）

会場：尾道市役所　2階多目的スペース

　　　 広島県尾道市久保一丁目15番1号　（JR尾道駅より徒歩約１０分）

　　　 WEB同時配信・ハイブリッド形式　（演題発表は原則会場参加のみ）

参加対象者：日本脳脊髄液漏出症学会 正・準会員。

未加入の方は事前（学会HPから）または当日会場での加入手続きをお願いします。

参加申し込み：当日会場参加受付は可能ですが、原則として事前参加登録をお願いいたします。

　　　 WEB参加は事前参加登録のみ（2月28日までのお申込みの予定）。

別紙参加登録用紙（word版）をご記入の上、事務局へE-mailまたはFAXにてご登録ください。

参加費：現地参加：5,000円，1日のみの参加・同額。WEB参加：5,000円。

参加費支払い方法：

会場参加の場合、原則として会場で現金でのお支払いをお願いします。

**WEB参加の場合、銀行口座振り込みをお願いします。**

WEB参加の場合、参加登録受付後（2月28日分までの予定）、ご案内をメールにて送付予定。

演題募集

テーマに関する演題、および脳脊髄液漏出症・減少症に関するあらゆる演題を募集します。

筆頭演者は、日本脳脊髄液漏出症学会 正・準会員に限ります。

募集期間：2023年11月1日〜2023年12月25日（予定）

添付の演題申込書（word版）に演題名・所属・抄録（800字程度以内）等をご記入の上、

学術集会事務局（onomichi2024@leak03.com）宛にメール添付にてお申し込み下さい。

詳細は一般演題申込書をご確認下さい。

事務局： 尾道市立市民病院

〒722-8503広島県尾道市新高山三丁目1170番地177

　　　　 TEL：0848-47-1155（病院代表）、FAX：0848-47-1004（病院FAX）

E-mail：onomichi2024@leak03.com

市民講座開催予定（2024年3月10日学術集会終了後）

一般の方の会場参加・WEB参加可能。内容詳細は後日公開します。

**第3回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会 参加登録用紙**

令和　　　　年　　　　月　　　　日

送付先

FAX：0848-47-1004, E-mail：onomichi2024@leak03.com

**参加登録希望いたします。（ 会場参加 ・** WEB**参加 ）**

所属名

所属住所

ご氏名

ご氏名（ひらがな）

T E L

F A X

E -mail

参加費（5,000円）支払い方法

**会場参加の場合、会場にて現金でのお支払い。**

**WEB参加の場合、事前に銀行振り込みでのお支払い。**

WEB参加の場合、参加登録受付後にご案内をメールにて送付予定。

（2月28日分までの参加登録分の予定）

【申込書送付先】

第3回日本脳脊髄液漏出症学会　事務局 事務局長： 西原　真澄

〒722-8503広島県尾道市新高山三丁目1170番地177

　　　　 TEL：0848-47-1155（病院代表）、FAX：0848-47-1004（病院FAX）

　　　　 E-mail：onomichi2024@leak03.com

**第3回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会 演題申込書**

送付先E-mail：onomichi2024@leak03.com

※メールの件名は**「第3回日本脳脊髄液漏出症学会学術集会　演題申込　氏名」**として下さい。

※書体はMS明朝、MSP明朝、Century、Times New Romanとし、太字などは使用しないで下さい。

※利益相反に関して申告の必要がある場合は、自己申告書を別途学会本部事務局にご提出下さい。

**演題の採否・日時などを通知するご連絡先（メールにて通知させていただきます）**

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 |  |
| ふりがな |  |
| 所属 |  |
| TEL |  |
| E-mail |  |

**■演題を登録いただくにあたり、次の承諾を全て得ている必要があります。**

・発表する研究内容および症例報告については、所属施設の倫理規定に準拠している。

・人を対象とした前向き研究では、個々の対象から書面による承諾を得ている。

・症例報告でも患者またはその家族から承諾を得ている、もしくは所属施設の承認を得ている。

**■上記の承諾を得ていますか？（必須）** (下にチェックを入れて下さい)

**※チェックがない演題は採用できませんのでご注意ください。**

倫理規範に抵触しない発表（施設紹介等）については上記規定に該当しないため、演題申込書の承認を「□得た、□得ていない、□該当しない」のうち、「□該当しない」にチェックして下さい。

**得ている　　　　　 得ていない 　　　 該当しない**

**演題名（５０文字以内）**

|  |
| --- |
| 記入例）脳脊髄液漏出症の髄液漏出部位に関する新たな知見 |

**※演題に関する問合せの際に必要ですので、演題名は抄録本文と両方にご記入下さい。**

**抄録本文（８００文字以内）：演題名・演者・所属・800字以内の抄録本文の順で記述して下さい。**

**※演題名・演者・所属・800字以内の抄録本文の順で記述して下さい。（図表不可）**

|  |
| --- |
| **（記入例）：消去してご記入ください。**  【演題名】  脳脊髄液漏出症の髄液漏出部位に関する新たな知見  【演者】**筆頭演者に下線をお願いいたします。**  守山英二1)、石川慎一2)、○○○○1)、○○○○1)、○○○○1)  【所属】  尾道市立市民病院　脳神経外科1)、姫路赤十字病院　麻酔科2)  【抄録本文】**文字数もご記入ください**  硬膜外ブラッドパッチ（EBP）は、脳脊髄液漏出症に対する確立された治療法である。良好な治療成績を得るためには漏出部位周辺への適切な血液注入が必要である。そのためには漏出部位の正確な把握が望ましい。従来の検査法で漏出部位が特定できる例は少数だったが、Farbら（2018）は、digital subtraction myelography (DSM)を用いて、31例の特発性低髄液圧症患者中27例 (87%)で漏出部位（頚胸椎移行部から腰椎レベル）が特定できたことを報告した。そして漏出の形状により、type 1：硬膜嚢腹側の硬膜破綻、type 2：硬膜嚢側方の硬膜破綻、type 3：髄液-静脈瘻、type 4：神経根鞘遠位からの漏出、の4型に分類している。一方、われわれの経験ではこの4型のいずれにも属さないもの、すなわち大孔部での椎骨動脈硬膜貫通部位（vertebral artery dural entry point）からの漏出が時にみられる。われわれが渉猟しえた限りでは、この部位からの髄液漏出の報告はない。通常のEBPでは血液が到達しがたい部位であり、難治性脳脊髄液漏出症の原因の一つになっている可能性がある。椎骨動脈硬膜貫通部位の漏出の可能性を念頭に置いて検査～治療を行う必要がある。この部位の髄液漏出を検出するためのCT脊髄造影（CTM）検査の工夫、さらに十分な血液を注入するためのEBP治療手技について報告する。 |

**※書体はMS明朝、MSP明朝、Century、Times New Romanとし、太字などは使用しないで下さい。**